【専門分野】

科目	単位（時間数）	年次	開講時期	担当者
※医療安全	１（３０）	３	第１・２学期	①岡島　優子 ②浅井　真由美 ③瓦谷　義隆

目　　標
医療安全と倫理の基本的な知識を学び、安全に看護を実践する能力や、看護者としての倫理観を養う

回	時間	授業内容	授業方法	備考
1	2	１．医療安全推進の背景 ２．人間の特性とヒューマンエラー ３．医療事故と過誤 １)看護事故　２)医療における危険要因　３)看護事故防止の考え方	講義	担当者① 20時間
2	2	４．倫理的判断 ５．我が国の安全管理対策	講義	①
3	2	６．危険因子の判断と回避行動 １)KYT　①KYT グループワーク ・日常生活援助場面　・診療の補助援助場面	演習	①
4	1	②KYT グループワーク発表	演習	①
5	2	２)事故分析 ①RCAとは	講義 演習	①
6	2	②RCAを用いた診療の補助援助に関する事故事例の分析	講義 演習	①
7	2	③RCAを用いた診療の補助援助に関する事故事例の分析	講義 演習	①
8	2	７．医療従事者の安全 １)抗がん剤曝露防止・放射線被爆防止・ラテックスアレルギー ２)患者からの暴言・暴力・セクハラ	講義	①
9	2	８．医療安全シミュレーション	演習	①
10	2	９．医療事故の法的責任 刑事責任　民事責任　行政責任	講義	①
11	2	１０．組織としての医療安全対策 １)医療安全管理体制　２)医療安全管理室の役割と活動	講義	担当者② 6時間
12	2	３)当院の医療事故の現状 ４)事故防止対策の具体例	講義	②
13	2	１１．組織としての感染予防対策 １)院内感染予防対策　２)アウトブレイク時の対応 ３)職業感染、針刺しの予防(フローチャートの活用)	講義	②
14	2	１２．医療機器の原理と使用の実際 １)医療機器の安全管理	講義	担当者③ 4時間
15	2	２)医療機器の原理と使用の実際	演習	③
16	1	終講試験		①

授業形態	講義および演習
評価方法 点数配分	筆記試験 100点 他の事項については履修規程の第５条、第６条に定めるとおりとする
テキスト	看護の統合と実践（２）医療安全　：　医学書院
その他	※この科目は実務経験のある教員による授業科目である

【専門分野】

科目	単位（時間数）	年次	開講時期	担当者
看護管理	１（１５）	３	第１学期	①榎本　里香 片岡　佐由美 ②千賀　智子 ③中村　なぎさ

目　　標

1. 看護をマネジメントするための基礎的知識を学ぶ
2. 医療チーム及び多職種との連携・協働の中で看護を実践するための基礎的能力を学ぶ

回	時間	授業内容	授業方法	備考
1	2	1. 看護マネジメント １）看護マネジメントとは ２）看護ケア提供システム ①　看護体制 ②　看護の経済性と効率性	講義	担当者① 8時間
2	2	３）リーダーシップとマネジメント ①　リーダーシップとは ②　メンバーシップとは ③　リーダーシップに関する理論 ④　マネジメントにおけるリーダーシップ	講義	①
3	1	４）キャリアマネジメント ①　看護職の教育制度 ②　看護職のキャリア形成 ③　看護実践の教育の場（保健・医療・福祉） ④　看護職の認定制度、専門・認定看護師の養成 ⑤　特定行為研修制度	講義	①
4	2	５）医療制度 ①　医療保険制度 ②　診療報酬 ③　医療費支払いシステム ④　看護ケアの対価	講義	担当者② 2時間
5	2	２．看護ケアマネジメントの実際 １）チーム医療および他職種との連携	講義	担当者③ 5時間
6	2	２）チーム医療を必要とする対象の看護	講義 演習	①
7	2	事例を通して考える看護の実際	講義 演習	③
8	1	事例を通して考える看護の実際	講義 演習	③
9	1	終講試験		①

授業形態	講義および演習
評価方法 点数配分	筆記試験 100点 他の事項については履修規程の第５条、第６条に定めるとおりとする
テキスト	看護の統合と実践（１）看護管理　：　医学書院
その他	

【専門分野】

科目	単位（時間数）	年次	開講時期	担当者
災害看護・国際看護	１（１５）	３	第２学期	①中野　達也 深川　哲嗣 ②JICA　講師

目　　標
1．災害時における医療・看護の役割を理解し、支援活動の実際について学ぶ 2．諸外国における保健・医療・福祉の基礎的知識と課題について学ぶ

回	時間	授業内容	授業方法	備考
1	2	１．災害医療と看護の役割 １）災害の種類と特徴 ２）災害医療の特徴 ３）災害看護 ①各期の災害看護の特徴	講義	担当者① 11時間
2	2	②各期における要援護者への看護 急性期、亜急性期、慢性期における要援護者への看護 被災者のニーズと看護者の対応 子ども、妊産婦、高齢者、障害者、精神障害者、慢性疾患患者、外国人などの要援護者への看護などの要援護者への看護	講義	①
3	2	災害時の支援活動の実際①（応急処置・トリアージ）	演習	①
4	2	災害時の支援活動の実際②（避難所や救護所の設営と運営）	演習	①
5	2	災害時の支援活動の実際③（災害訓練への参加）	演習	①
6	2	２．国際協力 １）世界の健康問題の現状 ２）医療・看護の国際協力とその仕組み ３）国際医療・看護活動の展開	講義	担当者② 4時間
7	2	３．看護師としての国際協力 １）諸外国の医療・看護の現状 ２）所外交との協力 ３）文化・宗教を考慮した看護	講義	②
8	1	終講試験		①

授業形態	講義および演習
評価方法 点数配分	筆記試験 100点 他の事項については履修規程の第５条、第６条に定めるとおりとする
テキスト	看護の統合と実践（１）看護管理　：医学書院 看護の統合と実践（３）災害看護学・国際看護学　：医学書院
その他	

【専門分野】

科目	単位（時間数）	年次	開講時期	担当者
※看護実践演習	１（３０）	３	第１・２学期	太田　恵子

目　　標
複合的な事象において看護の知識と技術を統合し活用できる看護実践能力を身につける

回	時間	授業内容	授業方法	備考
1	2	1. 事例の状況に応じた知識の統合と看護の実践 １）呼吸困難を訴える事例を通して考える看護の実際 事例の情報収集と整理	講義	
2	2	事例を通して考える看護の実際 フィジカルアセスメント	講義	
3	2	事例を通して考える看護の実際 観察と対応１：点滴・ドレーン挿入をしている対象の寝衣交換	演習	
4	2	事例を通して考える看護の実際 観察と対応２	演習	
5	2	事例を通して考える看護の実際 観察と対応３	演習	
6	2	２）痛みを訴える事例を通して考える看護の実際 事例の情報収集と整理	講義	
7	2	事例を通して考える看護の実際 フィジカルアセスメント	講義	
8	2	事例を通して考える看護の実際 観察と対応１	演習	
9	2	事例を通して考える看護の実際 観察と対応２	演習	
10	2	事例を通して考える看護の実際 観察と対応３	演習	
11	2	３）複数事例や多重課題のある対象を通して考える看護の実際 ・日常業務のマネジメント ・看護問題の明確化　・優先順位の判断	講義	
12	2	看護計画立案　～グループワーク～	講義 演習	
13	2	看護援助の実施　～発表～	講義 演習	
14	2	看護援助の評価　～振り返り～	講義 演習	
15	1	技術試験（OSCE）		
16	1	終講試験		

授業形態	講義および演習
評価方法 点数配分	筆記試験 60点　技術試験(OSCE)　40点 (筆記試験、技術試験それぞれの６割以上を合格とする) 他の事項については履修規程の第５条、第６条に定めるとおりとする
テキスト	成人看護学（２）呼吸器　：　医学書院 成人看護学（３）循環器　：　医学書院 成人看護学（７）脳・神経　：　医学書院 根拠と事故防止からみた基礎・臨床看護技術　：　医学書院 看護がみえるVol.3　フィジカルアセスメント　：メディックメディア 看護過程に沿った対症看護　：　学研
その他	※この科目は実務経験のある教員による授業科目である